

社 説

足尾銅山鑿毒事件は目下政府に於て委員会を設けて調査中なれば毒の有無も遠からず判然するみどならん當局者は則ち其結果に依り國家經濟の利害を比較して果して成算を得たる上は鑿業を停止するなり採掘法を改めしむるなり相當の處分を行ふなる可し即ち今は例より使是れ干涉可き時に非ず鑿業者も被害民も靜に其處分を得つ可きのみ譬へば家に病人ありて醫者の診察を求めたる場合には一に其醫者に任じて苟も指圖がましき舉動ある可らざるが如し様に其身體を述ぶるは不可なしと雖も素人の身分にて明に専門の事に容喙し此病氣は必ず肺病に相違なし是非とも斯く診断せよなを強ひて言ひ裏るは徒に家人の無學無識、病人に對して却て不親切なるの實を自白するに異ならず然るに今被害民の舉動殆んぞ之に類するものあるは遺憾と云ふ可し去る十一日内務大臣の一行が鑿毒視察の爲め群馬縣邑樂郡草川田に至りしに人民は之を迎へ被害の實況を述べ且つ其目前にて薬を焚き其薬灰を板の上に置きしに粉末集合して鑿物の如く緊縮せしにぞ内務大臣も大に感じたる模様なりしに栃木縣技師にして大臣に隨行せし東條某氏は是れは銅粉に非ず薬アクの集合したるものなりと云ひしに人民は憤然として怒り汝は嘗て渡良瀬川沿岸の土壤を分析して鑿毒ありと認めながら今則ち斯くの如きは何ぞや怪しからぬ奴なりとて多人數にて賣め掛りしも大臣に面して暫く差控へしが間もなく氏の將に車に乘らんとせし際又々數百の農民氏署長等其場に駆け付け種々になだめしかば漸く事なきを取囲みて汝の如き國賊あるが故に被害人民の難澁も傳某は兎も角も技師なり此の頃の事に付き農民よりも健なる判断を下し得べきは疑を容れず内務大臣も農民も共に専門家に非ず其結集物の成分を知る可き鑿今後は共に鑿業停止の運動に從事す可しと誓はせられたるよし我輩は固より彼の薬灰の結集したるの果る能はす又代議士が鑿業停止に同意するも反對するも全く勝手次第にして傍より其意見を左右す可きに非ず若しも農民に對して不親切とならば不評判と云ふ自然外に觸れざる可らざるに然るに種々様々の勢に迫られては假令ひ如何なる報告あるも天下萬目の俗と博するに足らず結局被害民の怨毛に歸するの外なければ今は双方とも勝て間に調査の結果を持ち其調査の方法にして宣しるを得るか若しくは政府の處置に不當の事あらば萬時に及んで正當の手段に依り重ねて曲を伸ばすの

公園の擴張と道改修 の改良

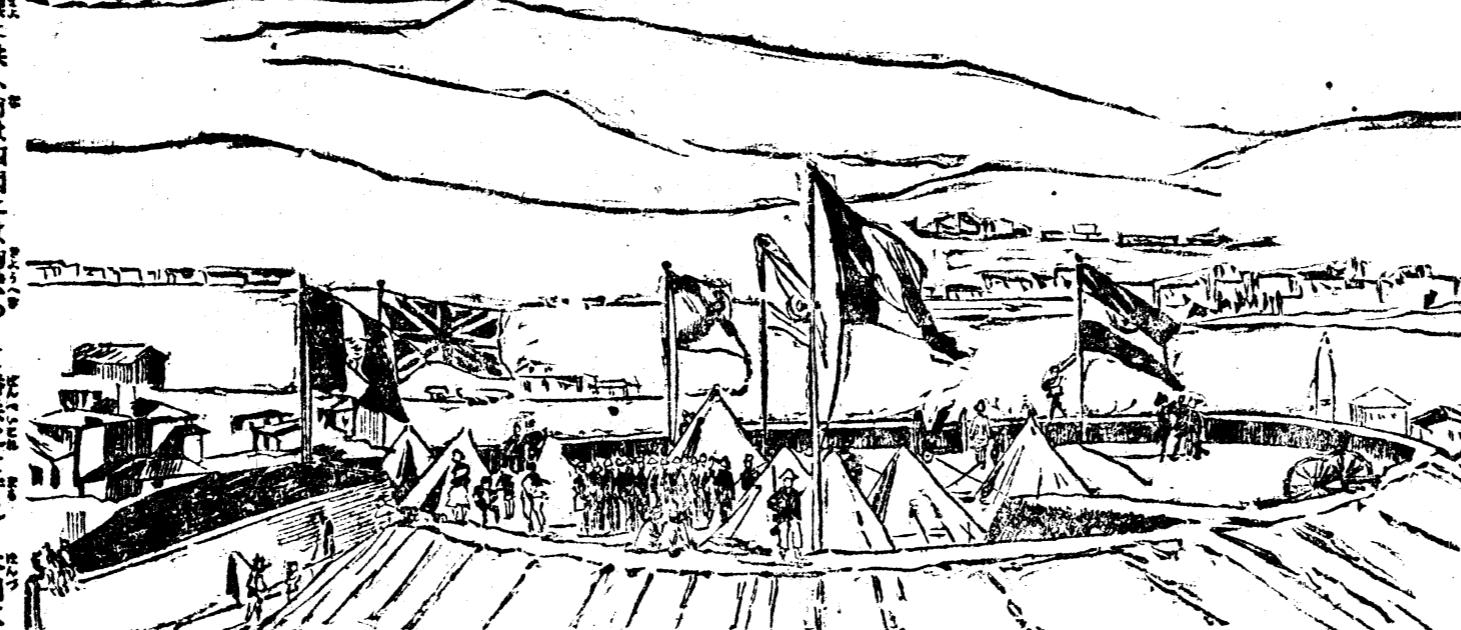
道ある可し文明の政府に法律の在るあり今日は醫者が
診察に専心の最もなれば業人にして漫に煩悶する可き場
合に非ず感は事態より不如意なるときは餘儀なく
警戒力を以て醫師の運動を保護し其誤診を避る手段に
も至る可し病家の體面に於ても美なりと云ふ可らず本
來我輩は其間に是非の意見を立てず一に専門家の断定
に従はんと欲するが故に唯その専門家の調査を獨立自
由ならしめんふとを望むのみ

を見たる後一旦歸申して更に天津北京に赴くべしと又聞く鹽漢鐵道の事も稍其緒に就きたれば追々原料の購入に着手すべく機關車及び客車等は略ば米國製を用ふるふとに一定し枕木は今日より三週間後を期し當地にて入れすべしと云ふ尙ほ聞く所に依れば右枕木は八ヒートの長さを有し幅九インチ厚六インチのものにして取敢へず二十四萬本を買入れ九十二箇月中に之を塘カニアの一隅筑して其外廓を臨むべき處に一個の堡壘て土耳其の弦月旗半空に揚る二月十五日朝即ち見れだ獨逸の國旗は翌日に至る迄其揚げられたるを見ざん

卷之三

東京市會にて同日之談に於て、公園地の擴張と遊歩地盤との見込にて、近々その工事に着手す可しと云ふ元來、社會の進歩と共に都市は漸次に繁盛に赴き、人口の増加、人家の稠密に隨ひ地價も亦隨て騰貴して一私人が廣大なる庭園を所有する説はさるに至るは、自然の成行なれば市内適宜の地を選んで公園を設け、公衆の遊歩場に充る所と廣むるは當然の處置にして、一點の疑存せず。されば、市は昔に市民娛樂の爲めのみならず衛生上に於ても亦必らず、其急不急の別あり。今東京市の有様を見て、市民一般の便宜の爲めに謀れば、眼前に尚ほ事の急なるものあるべし。即ち道路の修繕改良にして、其急不急は公園も凡そ事には急不急の別あり。今公園地の取扱い擴張に比して、同日の談に非ざれば、公園地の擴張、なれば費用を出すの餘裕あらば寧ろ之を道路の改良に供するふと至當なる可し。目下府下の道路の甚だ不完全なる點は明白の事實にして、市區改正事業の進行と共に多少道路に改良を施すが如くなるも、今日迄の實験に據れば、甚だ道路は泥濘と爲りて人間の歩行車馬の通行に一方的な實を見ざるのみか。一通りの修繕さへも、行届かざる填らざる難儀を感じしめ、人力車夫が車を覆して、乗客を泥中に投り出し、着屋八百屋の輩が墮き倒れて、商品を落すこと無し。し丁稚小僧が途中に行き難みて用便の間を欠くなどは普通の事にして、老人婦女子の如きは時としてけが不慮の怪我するものさへなきに非ず。現に今度取扱い擴張に着手すると云ふ芝公園内の大通りの如き、昨暮來如何なる目的にてか徒に泥土を盛り立てたる爲めに、雨後の鞋は非常のものにして、殆んど人馬の往来を断ち時どんなり、眼前の道路は斯る不始末を其體にして、粗みず一貫に公園地の取扱い不急の事を先にするとは何事なし。或は公園と道路とは費用の出處も自から別なりと云ふ理由はある可らず。況んや事の急不急、同日の談に非ざるをや一言敢て市の當局者に注意するものなり。

聯合國的占領地



斤野砲を据ゑて防禦に供ふ尙ほ四圍には胸壁わりて塹及びベーゼットの兩人書けるものなりとか聊ち左より土耳其、第五佛國、第六埃及なり
沾に納付せしむる約束の由にて本邦人中にも多少運動を爲しつゝあるものもわれを盛は成るべく阿米利加埠を用ひん積りなりと噂し合へり又本邦人中我國に於て製造する客車を賣込まんとて運動するものもゐる由蘇州に於ける英國領事と其居留地蘇州日本居留地定まるや否や英國領事は蘇州に向ひしが同領事は日下

敵へて第一は以太利軍
兵之を守れり本圖は